

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	利用者の要介護度の上昇等、重度化が進み、食事、排泄、入浴等の身体介助の業務が増加して、リハビリ・レクリエーション的な心身機能の回復・向上を目指すケアの業務割合が減少傾向である。	行事・レクリエーションの機会を増やして、心身活性化の取り組みを強化していく。	コロナ禍における感染対策としての外出行事の中断があっても、施設内(お誕生会等の交流会やリハビリ体操の活性化)、敷地内(散歩、花植物鑑賞等)における行事・レクリエーションの時間を増やしていく。	12 か月
2					か月
3					か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。